



へ進学する例が増えてきました。その場合、学歴が大卒なので事務的な仕事と考えるとジョブマッチングがなされると、難しい場合が生じてきます。

ADHDの基本的な特性は不注意、多動、衝動性ですが、多動や衝動性の部分は、成人になるとある程度落ち着いてくる部分もあります。仕事と関連する課題は、不注意な点です。不注意という問題はスマホ、タブレット等に記憶させておくりマインダーなどで対処し、成果を挙げているところもありますが、不注意そのものを治すことは難しい状況です。よって、まわりがやる程度サポートする体制を構築しておくことも必要になります。

■就職してから課題となるのは…

下表は、高齢・障害・求職者雇用支援機構が実施したアンケートなども

【発達障害者を雇用してから生じた支援課題の例】

- 誤字が多い（「校正」と「構成」「公正」「厚生」など）
- 単位を間違える（mとmmなど）
- アルファベット（bとdなど）を間違えて指示の場所に置けない
- 上司や同僚の指示を早とちりして誤解する
- 時間の見積もりが悪く、頼まれた仕事の締め切りに間に合わない
- 相手にうまく伝えることができない
- 好ましくない言語表現をして相手に不快な思いをさせる
- 曖昧・微妙な表現を理解しない
- 相手の気持ちを無視して自分の好きなことだけをしゃべり続ける
- 自分勝手な行動をしてまわりからいやがられる
- 感情的になりやすく、かんしゃくを起こす
- 場の空気を読めず、人間関係に支障をきたす

先生、相談です。

将来のために今から

小6

女子

LD + ADHD

通常学級に在籍

3

発達障害があると、仕事をしていくのにどのような問題点があるのでしょうか

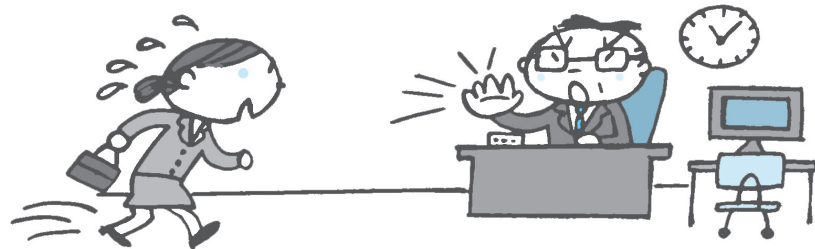
LDでADHDもあるとの診断を受けた、6年生の娘のことで相談します。これから、中学校、高校はもちろん、できれば大学へと進学させていきたいのですが、発達障害があると、社会に出て仕事をしていくうえで、どのような問題点があるのでしょうか。

■LD、ADHDの場合

お子さんの場合について考えてみます。まずLDに関してですが、知能は正常で読む、書く、計算するなどの一部に困難がある場合は、困難な部分が必要としない仕事に就くことで、多くの問題はクリアできます。実際、江戸時代には読み、書きができない人はたくさんいましたが、いろいろな仕事をしていました。現在でも、開発途上国の人たちのなかには読み・書き・計算ができないけれど、さまざまな仕事に従事している人たちがいます。

ただ、近年少子化のため、多くのLD者や知的にボーダーラインの人たちも大学

先生、相談です。



とに著者がまとめたもので、発達障害者を雇用してから生じた支援課題の例です。この表の内容から、多くはASDの特性が課題となっていることが伺えます。知的に高いアスペルガータイプなどのASDの人のなかには、IT技術や芸術などに特異な才能を示す人も多く、適切なジョブマッチングがなされれば素晴らしい業績を残すことも報告されています(梅永、2015)。そのような能力を所持しているのに、就労で困難を示しているのにはいくつかの理由があります。ASDに限らず、就労には仕事そのものの能力だけではなく、仕事に対する興味関心や意欲、日常生活能力の確立なども関連しているということです。

■仕事にはハードルスキルとソフトスキルの両方が必要

職業リハビリテーションの分野に「ハードスキル」と「ソフトスキル」という用語があります。ハードスキルとは、パソコンの操作ができる、簿記ができる、運転ができる、英語ができる、設計ができるなど、仕事そのものの能力のことをいいます。いわゆる職業能力といわれるものです。

これに対し、ソフトスキルとは、仕事以外の能力のことをいいます。職場で円滑に過ごすために必要な能力のことであり、仕事の能力とともに重要になるものです。たとえば、身だしなみがきちんとできる、遅刻しないで職場に行く、同僚・上司に挨拶ができる、適切なコミュニケーションがとれる、休憩時間を適切に過ごすなど

です。いくら仕事ができても、毎日遅刻しているようでは、解雇されてしまうでしょう。このソフトスキルは、小さいときから身につけておくべきライフスキル(地域で生活していく力、日常生活能力)と重なることが多いのです。

コラム

働くうえで必要なスキル

職務遂行能力(ハードスキル)のベースとなるのは

職業生活遂行能力(ソフトスキル)であり、さらにそのベースとなるのが日常生活能力

(ライフスキル)です。

つまり、ごく小さい頃から家庭

で身につけておくべきライフス

キルが十分に身につけていないと、

ライフスキルの崩壊により、その上に

あるソフトスキル、そしてさらにその上に

あるハードスキルまでガタガタと崩れてい

くのです。

